(Ver.20250120)

京都大学医学部附属病院／iPS細胞研究所／医生物研究所では、京都大学医学部附属病院および協力医療機関（別紙２「検体採取機関」）からいただいた検体・情報等（診療情報を含む）を使って、下記の研究課題を実施しています。

【研究課題名】
R91 「ヒト疾患特異的iPS細胞の作成とそれを用いた疾患解析に関する研究」
（G259「ヒト疾患特異的iPS細胞を用いた遺伝子解析研究」は現在、R91研究に統合済み）

これらの研究にご協力いただいた方の中で、ご不明な点がある場合はご参加時に本研究について説明した病院担当医師にご連絡ください。またご自身の検体・情報等を「この研究課題に対しては利用や提供をして欲しくない」と思われた場合には、担当医師にご連絡いただくか、ご参加時に協力意思（同意）の撤回書をお渡ししている場合は、担当医師にご提出またはご送付下さい。

【対象となる方】
別紙２「検体採取機関」に示す医療機関において、上記の研究への参加にご同意いただき、検体・情報等をご提供いただいている方

【利用の目的】
患者様や健康な方に由来するiPS細胞を作って調べたり病気の再現を試みたりすることによって、今は治療が難しい病気の仕組みの解明や将来の新しい治療法の発見を目指しています。（同意文書記載のとおり） この目的のために、各協力医療機関で保管している残余検体・診療情報等を利用させていただいている場合があります。
また、研究発展のため作成されたiPS細胞や得られたデータを国内外の細胞バンクやデータバンク、国内外の利用希望研究者（企業による研究も含みます）に提供しており、その際に協力者の診療情報や遺伝情報等の一部を併せて公開したり提供することがあります。細胞や情報はいずれも個人が特定できないよう符号化しております。

【利用または提供している試料・情報等の項目】
（試料）血液、皮膚、尿、頬粘膜、検査残余試料、手術摘出組織（骨髄、皮膚組織、心筋組織など）のうち提供を受けているもの、DNA、iPS細胞、分化細胞

（情報等）診断名、年齢、性別、病歴、家族歴、薬剤服用歴、検査結果（遺伝子検査、感染症検査、画像検査など）、問診情報、遺伝子解析情報などのうち全てまたは一部

【試料・情報を利用または提供を開始する予定日】
当院の研究実施許可日

【研究機関】
研究機関の長の実施許可日　～　2028年3月31日まで

【利用する者の範囲】
※各機関の研究対象分野によって研究対象者が異なります別紙３「利用する者の一覧」をご参照ください。

〔主な提供方法〕 直接手渡し、郵送・宅配、電子的配信

【研究責任者】
京都大学における研究責任者：
京都大学iPS細胞研究所　教授　斎藤　潤

共同研究機関および提供先機関における試料・情報の管理責任者：
別紙３「利用する者の一覧」に記載のある者

【試料・情報の利用または他の研究機関への提供を停止すること及びその方法】
ご自身の試料・情報を研究に利用されたくない方は、連絡先までその旨お知らせ頂ければ、解析対象から削除します。

【研究資金・利益相反】
本研究は、原則として公的研究費である文科省の科学研究費、
国立研究開発法人日本医療研究開発機構（AMED）の研究費等で実施しています。
利益相反については、「京都大学利益相反ポリシー」「京都大学利益相反マネジメント規程」に従い、「京都大学臨床研究利益相反審査委員会」において適切に審査しています。

【問い合わせ先】
京都大学医学部附属病院におけるご協力者からの問い合わせ先：
担当医師または京都大学医学部附属病院 臨床研究相談窓口 （平日8:30～17:15）
（電話） 075-751-4748　（E-mail）ctsodan@kuhp.kyoto-u.ac.jp